

特定非営利活動法人 / NPO法人

放送批評懇談会

第 1 回通常総会議事録

- 第一号議案 議長の選任
- 第二号議案 任意団体放送批評懇談会 2004 年度および
2005 年 5 月 1 日までの事業報告
- 第三号議案 任意団体放送批評懇談会 2004 年度および
2005 年 5 月 1 日までの収支決算
- 第四号議案 任意団体放送批評懇談会の解散
- 第五号議案 NPO法人放送批評懇談会 2005 年度事業計画
- 第六号議案 NPO法人放送批評懇談会 2005 年度収支予算
- 第七号議案 役員の変更について

放送批評懇談会

2005年6月25日

特定非営利活動法人放送批評懇談会

< 第1回通常総会 >

開催日 2005年6月25日

会場 都市センターホテル 605号室

会勢 <正会員>

184名 (入会8名、退会9名)

<維持会員>

124社 (入会1社)

出席者 37名

志賀信夫 田代勝彦 音好宏 石井彰

今村庸一 入江たのし 小田桐誠

隈部紀生 篠原俊行 嶋田親一 滝野俊一

永田俊和 深川章 藤田真文 藤久ミネ

堀木卓也 (正会員、理事)

赤尾光史 諫山脩 石井清司 石橋さや夏

岩本太郎 兼坂諦一 小林毅 坂本衛

清水孝雄 清水英夫 田中典子 谷口和巳

露木茂 中村登紀夫 橋本隆 日高一郎

福島俊彦 星島節子 三原治 望月正義

(正会員)

岩田糸子 (名誉会員)

委任状提出者 93名

出席予定者と委任状提出者で計130名

第二号議案

任意団体放送批評懇談会

2004 年度および

2005 年 5 月 1 日までの事業報告

2004年度総務事業報告

1. 理事会内に「法人設立プロジェクト」を立ち上げ、放送批評懇談会の法人化を推進しました。

2004年10月23日「設立総会」を開催し、法人化の承認を得て、東京都へ申請書を提出しました。2005年4月27日に認証書が届き、5月2日法務局に登記し、正式にNPO法人（特定非営利活動法人）が発足しました。これにともない、6月25日の通常総会で、任意団体の解散議決を問います。

*法人設立プロジェクト

座長 田代勝彦 委員 永田俊和、山田健太、堀木卓也
オブザーバー 河野利明（税理士） 中島好登（事務局）

2. 財政面の強化を目指して、維持会員社の勧誘に努力しましたが、今年は1社増にとどまりました。

「GALAC」の広告入稿については、所期の目的である数件増を達成しました。

3. 新たな団体との連携は、2004年11月に放送を開始した「モバイル放送」に、“ギャラクシーアワー”（ギャラクシー賞受賞作の再放送）と題した放送枠を得て、放懇会員による企画・コーディネートを実施しました。

2004年度出版編集委員会事業報告

1. 下記のメンバーで運営しました。

委員長 小田桐 誠
副委員長 伊藤洋子 津田浩司
委員 石橋さや夏 入江たのし 岩根彰子
岩本太郎 小林潤一郎 斎藤正道
田北康成 谷口和巳 平井 景 遊佐百佳

2. 毎月6日に「GALAC」を発行しました。

「GALAC」ならではの特集テーマに臨機応変に取り組みました。

反響が大きかった特集は次の号でした。

2004年10月号 どうなる視聴率どうする視聴質

2004年12月号 CM界のアンタッチャブル

2005年2月号 災害大国ニッポンを救え

2005年3月号 NHK再生の険しい道/
2時間ドラマのパラダイス

2005年5月号 “ラジオのチカラ”再発見

2005年6月号 2005放送局クライシス
レイアウトの刷新、連載の見直し、番組批評欄「マイ・ベストTV」の拡充を行いました。

発行部数は約4000部と横這いでしたが、神楽坂の文悠書店での直販のほか、法政大学多摩キャンパスでの面出し販売に努めました。同生協書籍部では取次から毎月10冊仕入れ、5から7冊の販売実績を挙げました。

ネット書店「富士山マガジンサービス」と提携を結び、ネット上での販売網拡大に努めました。上記サイトからは、月平均29冊の購読申し込みがあり、多い号では117冊を売り上げました。

大胆な現地取材を展開した2005年2月号がありましたが、全体的には取材編集費、原稿料などの低減には努めました。

2004年度選奨事業委員会事業報告

1. 本年度は下記の委員の構成で運営しました。

委員長 藤久ミネ

テレビ部門委員

(テレビ委員長・藤田真文、副委員長・諫山 修)

麻生千晶 諫山 修 岩根彰子 兼高聖雄 川端美樹

小林 毅 鈴木典之 丹羽美之 桧山珠美 深川 章

藤田真文

ラジオ部門委員

(ラジオ委員長・入江たのし、副委員長・伊藤 稔)

石井 彰 伊藤 稔 入江たのし 大沼悠哉 加藤吉治郎

鎌内啓子 茅原良平 斎藤弘美 谷 朝美 橋本 隆

藤田恒美 堀 義貴 三原 治

CM部門委員

(CM委員長・野田慶人、副委員長・鈴木ゆかり)

石橋さや夏 木村政司 五井千鶴子 鈴木ゆかり

高橋俊明 谷岡理香 永田彰久 西口芳美 野田慶人

本庄雅之 諸橋泰樹 山川浩二

報道活動部門委員

(報道活動委員長・音 好宏、副委員長・市村 元)

市村 元 音 好宏 小玉美意子 古西 洋 鈴木嘉一

茅野臣平 福島俊彦 藤久ミネ 堀木卓也 宮前周司

選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第42回ギャラクシー賞各部門の選考のため、以下の作業を行いました。

テレビ部門

- ・2004年4月から2005年3月まで、毎月選考会を開き月間賞4本を選びました。

月間賞では、個人賞もつとめて顕彰するように留意しました。選考結果を「GALAC」誌上に番組一覧表および合評形式で発表しました。毎月20日を情報解禁日とし、月間賞の選考結果をプレスリリースしました。

- ・2004年9月15日から28日まで、10月12、13、

14日に、第42回上期自薦作品76本を視聴。10月30日、月間賞(20本)と自薦作品の中から上期入賞作品7本を選出しました。

- ・2005年3月15日から25日まで、4月11、12、13日に第42回下期自薦作品98本を視聴。4月23日、月間賞(20本)と自薦作品の中から、下期入賞作品7本を選出しました。同時に特別賞、個人賞も選びました。

ラジオ部門

- ・2004年10月、第42回上期自薦作品を聴取し、10月26日に各部門の上期候補作品を選出。
- ・2005年4月、下期自薦作品を聴取し、4月18日に各部門の下期候補作品を選出。
- ・4月25日、上期下期をあわせた候補作品の中から入賞作8本を選出し、《DJパーソリティ賞》も選出しました。
- ・9月25日に受賞作品を聴く会を開催しました。

CM部門

- ・3か月ごとの視聴と2004年10月25日、上期自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。
- ・2005年4月22日、下期自薦作品を視聴し、13本の候補作品を選出。上期下期あわせた中から13本の入賞作品を選出。

報道活動部門

- ・2004年10月9日、上期自薦作品を視聴・聴取し、4本の候補作品を選出。
- ・2005年4月16日、下期自薦作品を視聴・聴取し、5本の候補作品を選出。上期下期合わせた中から6本の入賞作品を選出。また、1本の特別賞を選出しました。

3. 2005年5月31日(火曜日) ウェスティンホテル東京 ギャラクシールームにて「第42回ギャラクシー賞贈賞式・記念の宴」を開催しました。

なお、実行プロジェクトメンバーは次のとおりです。(石橋さや夏、岩根彰子、岩本太郎、小田桐誠、兼高聖雄、仮屋和則、小林 毅、小林英美、坂本 衛、嶋田親一、高橋克佳、滝野俊一、永田俊和、桧山珠美、三原治/中島好登)。出席者の内訳は、有料300名、招待約150名、合計約450名でした。

2004年度企画事業委員会事業報告

1. 本年度は、下記の委員で構成しました。

委員長 隈部紀生

副委員長 滝野俊一

委員 小針俊郎 佐藤 勉 清水孝雄 隅井孝雄
千田利史 西 正 原由美子

2. 2005年2月15日(火曜日) 放送批評懇談会シンポジウム2005「見えてきた！放送のデジタル・ニュー・オーダー」を、都市センターホテルで開催しました。

今回は、放送、家電、通信のトップの方々の講演の後、携帯・移動体放送をテーマにしたパネルディスカッションと、地域放送局の地上デジタルテレビについてのケーススタディを行いました。

受講者は172名(一般58名、会員106名、正会員8名)で、2004年より若干減少しました。(受講料は、一般29,000円、会員25,000円、正会員15,000円としました。)

シンポジウムの運営には、企画事業委員会に会員有志を加え、事務局とともにプロジェクトチームを編成してあたりました。

第三号議案

任意団体放送批評懇談会

2004 年度および

2005 年 5 月 1 日までの収支決算

収支計算書

2004年4月1日～2005年3月31日まで（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異
. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	2,500,000	2,842,600	342,600
入会金収入	100,000	90,000	10,000
維持会費収入	40,000,000	41,409,000	1,409,000
2. 事業収入			
選奨事業収入	21,000,000	25,685,700	4,685,700
企画事業収入	6,500,000	4,459,500	2,040,500
40周年記念収入	500,000	219,800	280,200
番組収入	0	1,995,000	1,995,000
3. その他の収入			
購読料収入	4,500,000	4,634,440	134,440
広告料収入	7,500,000	7,730,500	230,500
4. 雑収入			
受取利息	0	171	171
雑収入	0	0	0
当期収入合計	82,600,000	89,066,711	6,466,711
. 支出の部			
1. 事業費			
選奨事業費	13,500,000	13,390,907	109,093
企画事業費	4,000,000	3,205,796	794,204
法人化対策費	300,000	26,500	273,500
2. 総合企画室費	50,000	0	50,000
3. 管理費			
給料手当	14,400,000	14,281,590	118,410
人件費	6,000,000	5,220,580	779,420
退職金	0	504,182	504,182
法定福利費	1,850,000	1,832,105	17,895
福利厚生費	250,000	164,183	85,817
会議費	150,000	253,476	103,476
交通費	780,000	681,860	98,140
通信費	2,450,000	2,114,304	335,696
備品費	230,000	886,212	656,212

消耗品費	750,000	658,719	91,281
諸印刷費	500,000	539,910	39,910
原稿料	6,600,000	7,248,355	648,355
水道光熱費	270,000	250,461	19,539
賃借料	4,050,000	3,969,450	80,550
保険料	500,000	489,830	10,170
支払手数料	100,000	104,020	4,020
租税公課	100,000	402,000	302,000
発送費	1,900,000	1,658,586	241,414
事務用品費	170,000	133,609	36,391
資料費	1,000,000	1,080,407	80,407
交際費	240,000	182,562	57,438
出版編集費	4,260,000	4,621,013	361,013
雑誌印刷費	17,200,000	17,051,715	148,285
広報費	300,000	590,940	290,940
番組費	0	954,840	954,840
雑費	700,000	949,158	249,158
当期支出合計	82,600,000	83,447,270	847,270
当期収支差額	0	5,619,441	5,619,441

正味財産増減計算書

2004年4月1日～2005年3月31日まで（単位：円）

科目	金 額		
. 増加の部			
1. 資産増加額			
現金預金増加額	9,397,198		
2. 負債減少額			
増加額合計		9,397,198	
. 減少の部			
1. 資産減少額			
未収入金減少額	262,000		
賃借権利金等減少額	134,334		
2. 負債増加額			
未払金増加額	3,228,514		
預り金増加額	92,909		
前受金増加額	60,000		
減少額合計		3,777,757	
当期正味財産増加額			5,619,441
前期繰越正味財産額			24,803,570
期末正味財産額			30,423,011

貸借対照表

2005年3月31日現在（単位：円）

科目	金額		
・資産の部			
1.流動資産			
現金預金	32,492,689		
未収入金	3,306,500		
前払金	0		
所有物	286,625		
流動資産合計		36,085,814	
2.固定資産			
賃借権利金等	33,585		
差入保証金	4,000,000		
固定資産合計		4,033,585	
資産合計			40,119,399
・負債の部			
未払金	8,193,390		
前受金	1,132,500		
預り金	370,498		
負債合計			9,696,388
・正味財産の部			
正味財産			30,423,011
(うち基本金)			0
(うち当期正味財産増加)			0
負債及び正味財産合計			40,119,399

収支計算書

2005年4月1日～5月1日まで(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
. 収入の部			
1. 会費等収入			
会費収入	208,333	203,750	4,583
入会金収入	8,333	0	8,333
維持会費収入	3,333,333	3,387,000	53,667
2. 事業収入			
選奨事業収入	1,750,000	970,000	780,000
企画事業収入	541,666	0	541,666
40周年記念収入	41,666	8,000	33,666
番組収入	0	420,000	420,000
3. その他の収入			
購読料収入	375,000	854,058	479,058
広告料収入	625,000	420,000	205,000
4. 雑収入			
受取利息	0	0	0
雑収入	0	0	0
当期収入合計	6,883,331	6,262,808	620,523
. 支出の部			
1. 事業費			
選奨事業費	1,125,000	1,270,596	145,596
企画事業費	333,333	0	333,333
法人化対策費	25,000	8,090	16,910
2. 総合企画室費			
	4,166	0	4,166
3. 管理費			
給料手当	1,200,000	1,000,878	199,122
人件費	500,000	282,730	217,270
法定福利費	154,167	237,996	83,829
福利厚生費	20,833	7,580	13,253
会議費	12,500	7,034	5,466
交通費	65,000	5,800	59,200
通信費	204,167	262,321	58,154
備品費	19,166	0	19,166
消耗品費	62,500	51,203	11,297

諸印刷費	41,666	2,625	39,041
原稿料	550,000	583,667	33,667
水道光熱費	22,500	23,033	533
賃借料	337,500	317,913	19,587
保険料	41,666	40,540	1,126
支払手数料	8,333	10,010	1,677
租税公課	8,333	0	8,333
発送費	158,333	115,631	42,702
事務用品費	14,166	7,462	6,704
資料費	83,334	124,343	41,009
交際費	20,000	1,680	18,320
出版編集費	355,000	268,867	86,133
雑誌印刷費	1,433,333	1,360,275	73,058
広報費	25,000	21,000	4,000
番組費	0	200,000	200,000
雑費	58,335	41,722	16,613
当期支出合計	6,883,331	6,252,996	630,335
当期収支差額	0	9,812	9,812
当期収支差額	6,883,331	6,252,996	630,335

正味財産増減計算書

2004年4月1日～5月1日まで（単位：円）

科目	金 額		
. 増加の部			
1. 資産増加額			
現金預金増加額	6,282,121		
未収入金増加額	212,500		
増加額合計		6,494,621	
. 減少の部			
1. 負債増加額			
未払金増加額	206,166		
預り金増加額	51,643		
前受金増加額	6,227,000		
減少額合計		6,484,809	
当期正味財産増加額			9,812
前期繰越正味財産額			30,423,011
期末正味財産額			30,432,823

貸借対照表

2005年5月1日現在(単位:円)

科目	金額		
. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	38,774,810		
未収入金	3,519,000		
所有物	286,625		
流動資産合計		42,580,435	
2. 固定資産			
賃借権利金等	33,585		
差入保証金	4,000,000		
固定資産合計		4,033,585	
資産合計			46,614,020
. 負債の部			
未払金	8,399,556		
前受金	7,359,500		
預り金	422,141		
負債合計			16,181,197
. 正味財産の部			
正味財産			30,432,823
(うち基本金)			0
(うち当期正味財産増加)			0
負債及び正味財産合計			46,614,020

第四号議案

任意団体放送批評懇談会の解散

任意団体放送批評懇談会の解散

任意団体放送批評懇談会規約<第8章>補則第41条(解散)の規定に従い、任意団体放送批評懇談会を解散します。

任意団体放送批評懇談会規約<第8章>補則第41条(解散)会を解散するには、総会において、正会員総数の3分の2以上(書面または委任状による議決権の行使を含む)の賛成を得なければならない。解散したときは、理事長と理事長が指名する理事が精算人となる。

なお、任意団体放送批評懇談会の会員だったものは、2004年10月23日の特定非営利活動法人放送批評懇談会の設立と同時に、特定非営利活動法人放送批評懇談会に異動しました。

第五号議案

N P O法人放送批評懇談会

2005 年度事業計画

2005年度総務事業計画

1. NPO法人として、視聴者・市民とのつながりを深めるために、インターネットなどを利用した「視聴者が選ぶギャラクシー賞・テレビ大賞」(仮称)の設立を検討します。
2. 広報活動をより活発化させるために、「ホームページ」の内容を拡充します。更新回数を増やし、新鮮な情報を取り込みます。また、アクセスを増やすために「リンク」の拡大を検討します。
*ホームページプロジェクト 座長 兼高聖雄
3. 広く外部にパートナーを求め、連携し「視聴者番組機構」(仮称)の設立を検討します。視聴者の積極的参加を促し、番組制作の企画書の作成、視聴者による優秀番組選奨事業、視聴トレンドの調査などを課題とします。
4. NPO法人として、個人情報保護法などの法的な対応をきちんと整備します。
また、事務局職員の「就業規則」も新たに作成します。
5. 「モバイル放送」の“ギャラクシーアワー”は、2005年9月まで放送中です。
その後の継続を「モバイル放送」と検討します。

2005年度出版編集事業計画

1. 下記のメンバーで運営します。

委員長 小田桐 誠
副委員長 伊藤洋子 津田浩司
委員 石橋さや夏 入江たのし 岩根彰子
岩本太郎 小林潤一郎 斎藤正道
田北康成 谷口和巳 平井 景 遊佐百佳

2. 毎月6日に「GALAC」を発行します。

毎号が試行錯誤の状況ですが、特集のテーマや内容、連載など誌面の活性化に努めていきます。

原稿内容・校正作業などに責任を持ち、クオリティアップに努めます。

原稿料、取材費、制作費、印刷費など低コストを実現していますが、引き続きこれを努力します。

NPO法人化に伴い、放送批評懇談会が関わるシンポジウムや勉強会、イベントなどと連携した誌面展開を考えていきます。

理事、会員が勤務する大学の生協書籍部に「GALAC」コーナーが出来ればと考えているところですが、各位の意見等を伺いながら、一步でも前進したいところです。

発行部数は引き続き約4000部を見込んでいます。

事務局と連携して、新たな出稿先の確保および、販売網の拡大に努めます。

2005年度選奨表彰事業計画

1. 2005年度は下記の委員構成で運営します。

選奨事業委員長 藤久ミネ

テレビ部門委員

(テレビ委員長・藤田真文、副委員長・諫山 修)
麻生千晶 諫山 修 岩根彰子 金山 勉 兼高聖雄
川端美樹 小林 毅 鈴木典之 中町綾子 丹羽美之
松山珠美 深川 章 藤田真文 ほか若干名交渉中

ラジオ部門委員

(ラジオ委員長・入江たのし、副委員長・伊藤 稔)
石井 彰 伊藤 稔 入江たのし 大沼悠哉 加藤吉治郎
鎌内啓子 茅原良平 斎藤弘美 谷 朝美 橋本 隆
藤田恒美 堀 義貴 三原 治

CM部門委員

(CM委員長・野田慶人、副委員長・鈴木ゆかり)
石橋さや夏 木村政司 五井千鶴子 鈴木ゆかり
高橋俊明 谷岡理香 永田彰久 西口芳美 野田慶人
本庄雅之 諸橋泰樹 山川浩二

報道活動部門委員

(報道活動委員長・音 好宏、副委員長・市村 元)
市村 元 音 好宏 小玉美意子 古西 洋 鈴木嘉一
茅野臣平 福島俊彦 藤久ミネ 堀木卓也 宮前周司
選奨事業委員会担当事務局 福島美子

2. 第43回ギャラクシー賞(2005年度)の審査、ならびに贈賞式を行います。

3. 2005年度の運営方針は以下のとおりです。

1) テレビ部門の運営

年齢構成、男女比などのバランスに留意して委員会を組織し、すべての番組ジャンルへの目配りを忘れずに視聴活動を行います。月評会を活性化し、テレビの日常活動を的確にとらえるように努力します。推薦番組の選定が、制作者に向けた激励と今後の番組作りへの提言となるよ

うな選奨活動を心がけます。

2) ラジオ部門の運営

昨年度同様の応募作品数をキープすることを目標に、作品の完成度だけではなく、日常の番組を通じて、地域密着の双方向性メディアとしてのラジオを評価する姿勢を重視します。これにより生ワイド部門の選考方法の見直しも検討します。また受賞作品を聴く会も実施、制作者を含むより多くの人に活動のアピールを行います。

3) CM部門の運営

CM部門発足に際して設けた、審査基準の中核をなす「未来を示唆するCM」ならびに「サムシングニュー」を批評、評価軸とし、合評の深化と審査の充実をはかると共に、審査基準の明確化ならびにシリーズCMなどの応募方法の見直しも検討したいと考えています。

4) 報道活動部門の運営

放送における報道活動のより一層の発展を応援すべく、放送現場の実情に即したきめの細かな選奨活動を進めます。地方放送局や番組制作プロダクション、フリージャーナリストなどからの応募がより活発になるように、賞の広報活動をより一層強化します。

2005年度企画開催事業計画

1. 本委員会は、シンポジウム、研究会、コンサルティング、アンケート調査等の企画・立案・実施を目的とします。
2. 本年度は、下記のメンバーで構成します。
委員長 隈部紀生
副委員長 滝野俊一
委員 小針俊郎、佐藤 勉、清水孝雄、隅井孝雄、
千田利史、西 正、原由美子
3. デジタル放送の新展開についての大型シンポジウムの企画立案を行い、2006年2月の開催を目指します。
4. NPO法人化とあわせて、デジタル放送時代の視聴者に焦点をあてた研究調査を行い、必要に応じて、フォーラム、セミナー、研究会等を開催します。
5. 事業実施に当たっての基本方針は以下の通りとします。
会の財政を考え、当委員会の事業全体としての黒字を目指す。
ほかの委員会の企画と有機的な連動を図る。
シンポジウムなど開催当日の支援スタッフ、事前準備作業スタッフには相応の手当を支給する。事務局の負担は最小限とする。

第六号議案

N P O法人放送批評懇談会

2005 年度収支予算

2005 年度予算案

2005 年 5 月 2 日 ~ 2006 年 3 月 31 日まで (単位 : 円)

科目	2005 年度予算(参考)	5 月 ~ 翌 3 月予算
. 収入の部		
1. 会費等収入		
会費収入	2,700,000	2,496,250
入会金収入		
維持会費収入	41,000,000	37,613,000
2. 事業収入		
選奨事業収入	22,000,000	21,030,000
企画事業収入	3,000,000	3,000,000
40 周年記念収入		
番組収入	600,000	180,000
3. その他の収入		
購読料収入	4,600,000	3,740,750
広告料収入	7,800,000	7,380,000
4. 雑収入		
受取利息		
収入合計	81,700,000	75,440,000
. 支出の部		
1. 事業費		
選奨事業費	13,500,000	12,229,404
企画事業費	2,500,000	2,500,000
法人化対策費	70,000	61,910
2. 総合企画室費		
3. 管理費		
給料手当	16,500,000	15,499,122
人件費	3,000,000	2,717,270
法定福利費	2,200,000	1,962,004
福利厚生費	200,000	192,420
会議費	300,000	292,966
交通費	700,000	694,200
通信費	2,000,000	1,737,679
備品費	200,000	200,000
消耗品費	680,000	628,797

諸印刷費	500,000	497,375
原稿料	6,900,000	6,316,333
水道光熱費	260,000	236,967
賃借料	4,350,000	4,032,087
保険料	750,000	702,456
支払手数料	100,000	89,990
租税公課	400,000	400,000
発送費	1,700,000	1,584,369
事務用品費	150,000	142,538
資料費	1,000,000	875,657
交際費	240,000	238,320
出版編集費	4,600,000	4,331,133
雑誌印刷費	17,100,000	15,739,725
広報費	500,000	479,000
番組費	300,000	100,000
雑費	900,000	858,278
予備費	100,000	100,000
当期支出合計	81,700,000	75,440,000

第七号議案

役員の変更について

役員の変更について

特定非営利活動法人放送批評懇談会 副理事長 伊豫田康弘さんの死去に伴い、定款附則の役員から削除します。

なお、伊豫田康弘さんの死去にともない、副理事長職は空席とします。

**特定非営利活動法人 / NPO法人
放送批評懇談会**

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel.03-5379-5521 Fax.03-5379-5510

houkon@houkon.jp <http://www.houkon.jp>